

脚色 ▶ 齊藤祐一（狼と狐との物語） 五戸真理枝（人魚の海）
演出 ▶ 五戸真理枝



しんゆり“ファミリー”シアター

狼と狐との物語 ～『アラビアンナイト』より～ 人魚の海 ～太宰治『新釈諸国噺』より～

物語の世界をさらに楽しむ
お芝居の前に
工作タイム
があるよ！

2025年10月3日（金）～5日（日）

川崎市アートセンター小劇場

チケット（全席指定・税込）

大人こどもペア 5,500円 大人 5,000円 こども（高校生以下）1,000円

U30割（30歳以下）2,500円 障がい者割引 3,000円（付添1名まで同額）

発売日 2025年8月29日（金）

主催・お問合わせ ▶ 川崎市アートセンター TEL. 044-955-0107

後援 ▶ 川崎市教育委員会 NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり

川崎市アートセンター
kawasaki ART center



しんゆり“ファミリー”シアター

狼と狐との物語

～『アラビアンナイト』より～

人魚の海

～太宰治『新釈諸国噺』より～

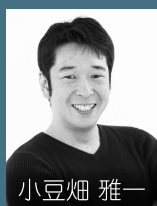
劇場で生命のつながりを感じよう!!

人間のそばで生きるオオカミとキツネの物語。そして、海の中でひっそりと生きる人魚の物語の2作品をお届けいたします。地球上には、人間にお馴染みの動物から、人間がまだよく知らない謎に包まれた生き物まで、多種多様な命が暮らしています。多くのことがコンピューターで管理されている現代生活の中で、忘れかけている生命のふれあいを思い出してみましょう。いろんな生命がつながり、影響し合い、響き合いながら生きていることを感じることは、この地球上に生まれた喜びを知ることと言えるかもしれません。

脚色・演出 五戸真理枝

『アラビアンナイト』より「狼と狐との物語」と、太宰治『新釈諸国噺』の中の「人魚の海」の2本立てを、五戸真理枝（第30回読売演劇大賞最優秀演出家賞）の演出でお届けします。お芝居を観る前に「工作タイム」を設け、手作りアイテムを持って物語の世界へ飛び込みます。子どもも大人も一緒にお楽しみください。

出演者 ※五十音順



小豆畑 雅一



小川 碧水



さいとうたかし



斉藤 祐一



鈴木 亜希子



中地 美佐子



西尾 知恵



萩原 亮介

演 奏 国広 和毅

スタッフ

脚色：斉藤祐一（狼と狐との物語）・五戸真理枝（人魚の海） 演出：五戸真理枝 音楽：国広和毅 振付：岩渕貞太
美術：乗峯雅寛 衣裳：加納豊美 照明：阪口美和 音響：坂口野花 舞台監督：仲里良・松井佐知子
演出助手：日沼りゆ 協力：文学座こどもげき委員会 主催・企画・製作：川崎市アートセンター

公演スケジュール 2025年10月3日（金）～5日（日）※開場は開演の30分前

10月	3金	4土	5日
11:00			★
13:00		●	
15:00			★
17:00		●	
18:30	●		

★＝託児サービス ※要事前予約

舞台鑑賞中、3F 特設ブースにて保育スタッフがお子さんをお預かりします。

対象：2～5歳 諸費用：200円 定員：5名

予約方法：右記二次元コードよりお申込みください。

予約締切：10月1日（水）

※チケットは別途お求めください。



チケット（全席指定・税込） 発売日 2025年8月29日（金）

大人こどもペア 5,500円 大人 5,000円 こども（高校生以下）1,000円

U30割（30歳以下）2,500円 障がい者割引 3,000円（付添1名まで同額）

※障がい者割引はTEL、窓口販売のみ。要障がい者手帳。

※U30割のお客様は当日身分証明書のご提示をお願いする場合がございます。

※推奨年齢：小学生以上

取扱い しんゆりチケットセンター（川崎市アートセンター内）

WEB <https://kawasaki-ac.jp>

TEL 044-959-2255（9:00～19:30、毎月の施設点検日をのぞく）

窓口 9:00～19:30（毎月の施設点検日をのぞく）

お問い合わせ 川崎市アートセンター TEL 044-955-0107

会場

川崎市アートセンター小劇場



小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
TEL 044-955-0107 <https://kawasaki-ac.jp>
※駐車場はございません。

@kactheater

@kawasaki_artcenter

しんゆり“ファミリー”シアター

川崎市アートセンター小劇場で創造発信する公演を「しんゆりシアター」と名付け、地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この仕組みを理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点となる地域劇場を目指します。特に幅広い世代のみみなさまに届けたい企画として“ファミリー”といたしました。